

事業所名

(株) NursingHome 多機能型事業所どんぐりの家

支援プログラム (放課後デイサービス)

作成日

2026年

2月

20日

法人 (事業所) 理念		「毎日楽しく笑って」すごせるように、支援する										
支援方針		・療育 月間プログラム 週間プログラム 日々の目標を立て、集団活動、個別活動立案し、個別支援計画に沿って実施、評価を行いながら支援する。 ・看護 リハビリ 看護、リハビリスタッフによる身体機能の維持、向上、合併症予防等、個別支援計画の立案、実施、評価を行いながら支援する。										
営業時間		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握と日々の体調に合わせた支援 個々に応じた合併症を予防する支援 睡眠、休息等、生活リズムを整えられるような支援 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ポジショニング介助 変形や関節拘縮を予防したり、活動時や休息時のポジショニングを行う ・生活の中で様々な音や形、色、触感、動きなどの気づいたり感じたりして楽しむ 運動、感覚プログラムの提供 (個々の特性や発達段階に合わせて、保有している感覚を活用したり新たな感覚刺激の入力や運動プログラムを実施する) スパイダーを使用し立位や座位など重力姿勢をとり、体幹筋の賦活や固有感覚への刺激入力を行う 装具やスパイダーなどの補助的手段を活用し、姿勢の保持や上下肢の運動を行う 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や製作を通して物を捉える力や四季折々を感じる支援を行う 朝の会や活動など集団活動を通して社会性を養う 視覚、触覚、聴覚等の感覚を十分に活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う 物の機能や形、色、音の違い、大小や重さなどの概念を知ること、一人一人の行動の手掛かりとして活用できるように支援する 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉によるコミュニケーションだけでなく、視線入力装置を用いて自己表現できるよう支援する 年中行事や体験と言葉の意味を結びつけることで言語の理解を深められるよう支援する スタッフや利用者との交流を通して、他者と同じものに注意を向けられるように支援を行う 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 感覚機能を使った遊びからごっこ遊び等の象徴遊びを通して、社会性の発達を支援する スタッフを介して行う連合的なあそび、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、社会性の発達を支援する イベントなどを通して地域との交流を行う 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 個々の家庭の困りごとや育児相談などに応じながら、当事業所にできる支援を考え、できる限り家庭での生活を維持できるように支援する。 安心して家族が就労できるよう、お子様の体調を整え、またご利用時間の相談に応じる。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校と情報交換 移行支援会議 関係機関との連携 主治医移行や生活介護施設移行の相談。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 自治体や近隣事業所 (通所施設や訪問看護ステーション等) との情報交換や合同防災訓練、また、合同夏祭り等の行事を通じた交流を行っている。 自治体の会議 (自立支援協議会等) の参加をしている。 母の会、専門職団体等の活動に参加、支援を行っている。 				職員の質の向上		事業所内研修： 年間研修計画を立案し実施。 外部研修 <ul style="list-style-type: none"> 保育士：ミュージックケアや療育に関する研修の参加 看護師：看護協会等が主催する研修の参加 				
主な行事等		季節行事 お花見 節句 夏祭り ハロウィン クリスマス 正月遊び 節分 ひな祭り										